

大牟田市立高取小学校

1 本校のESDの特徴

本校区には豊かな自然が多く残っており、また、学習を支援して頂ける人材や施設も豊富である。このような中、本校では、環境教育と福祉教育を中心に据えながらESDに取り組んでいる。ESDを推進するにあたっては、主として生活科や総合的な学習の時間において、他者や社会、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重できる児童の育成をめざし取組を行ってきている。

環境教育では、自然を愛したり、自然を大切にしている地域の人と関わったりすることで、自然を大切にしたいという心を持ち、自ら環境へ働きかけ、環境を守り、受け継ごうとする協働的実践力を培うことをねらいとしている。

福祉教育では、人間尊重の精神を基盤にして、道徳的心情を育成し、福祉に対する理解を深め、お互いに助け合い、協力し合い、住みよい社会をつくるための実践的態度の育成をねらいとしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- | | |
|--------------------------|-------------|
| (1) 1年生「みんななかよし」 | (生活科) |
| (2) 2年生「レッツ・ゴー 町たんけん2年生」 | (生活科) |
| (3) 3年生「わくわくドキドキお話たんてい団」 | (総合的な学習の時間) |
| (4) 4年生「心のキャッチボール」 | (総合的な学習の時間) |
| (5) 5年生「高取ホテルプロジェクト」 | (総合的な学習の時間) |
| (6) 6年生「ピースオンワールド」 | (総合的な学習の時間) |

3 特徴的な活動事例の紹介

- (1) 4年生 総合的な学習の時間 単元「心のキャッチボール」

①目標

高齢者の立場になっいろいろな体験をすることで、高齢者の気持ちを感じながら、高齢者との交流や、高齢者の方を援助・介護をする計画を立て、支え合いながら共に生きる社会をつくっていくために、自分たちができる事を考え、進んで実践することができる。

②展開

○福祉についての学習

- ・地域にある特別養護老人ホーム「延寿苑」のスタッフさんから、「福祉」について説明を受ける。
- ・学校、地域のバリアフリーを見つけ、「福祉」について考える。
- ・車椅子などのサポート体験をして、高齢者の生活について理解を深める。

○実践1

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、「延寿園」をリモートで訪問し、理解を深める。

○実践2

- ・「延寿園」「米の山」でデイサービスを受けておられる高齢者とリモートで交流し、自分たちの考えた活動（歌、読み聞かせ、クイズ等）を行い、関わりあっていく。



【延寿苑スタッフによる施設の説明】

③今後の活動

- ・自分たちの取組を振り返ったり、スタッフさんに意見を聞いたりして、よかったところ不十分だったところを整理する。
- ・自分たちの今年度の取組について学校内で報告会を開く。

(2) 5年生 総合的な学習の時間 単元「高取ホタルプロジェクト」



①目標

校区の自然を調べることを通し自然環境の豊かな生き物の指標である「ホタル」を増やすことを目的として、環境保全に取り組む地域の人々や市役所や公民館の方々と関わり合いながら、自分たちにできる環境保全活動を考え実践していくことができる。

②展開

○課題の設定

- ・長溝川にホタルがどのくらい飛んでいるのか 調べる計画を立てる。
- ・ホタル鑑賞会を行う。(6月夕刻)
- ・地域の方から昔の地域の様子や、生き物の専門家から、ホタルについての話を聞く。

○実践1

- ・大雨や河川の工事でホタルやカワニナの数がどのくらい変化したか調べる。
- ・「ホタルプロジェクト会議」で関係者を招いて、今年度の計画を発表し意見を聞く。

○実践2

- ・長溝川の掃除を行い、地域にポスターを掲示する。
- ・学校の池を整備しカワニナを飼育できるようにする。



【ホタルプロジェクト会議】

③今後の活動

- ・現4年生にこれまでの活動を説明する。
- ・引き続き地域の環境をよくしていく活動の引き継ぎを行う。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・相手の立場に立って活動を考えた交流で、高齢者（延寿苑・米の山デイサービス）の方に喜んでもらったことが自分たちの喜びにもつながることを実感できた。
- ・途中まで進んでいた活動だが、今年度も大雨によって長溝川が激変したにもかかわらず、これが自然ということを受け入れることができた。
- ・活動を行う過程で、子どもたちは地域の方やいろいろな関係の方からの支援やアドバイスももらったことで、自分たちも地域の一員として生活しているという地域への所属感が高まった。
- ・ホタルの幼虫の食べ物であるカワニナについての生態や、カワニナの食べ物である水生植物などについても把握し、生物多様性についての理解が深まった。

○課題

- ・コロナウイルス感染防止のため「ホタルプロジェクト」の開催が延期や「延寿苑訪問」の中止が続く、リモートでの交流も想定しなければならなかったため、準備が必要だった。
- ・カワニナ飼育のための池の整備や管理についての常時活動の計画が必要になってきた。